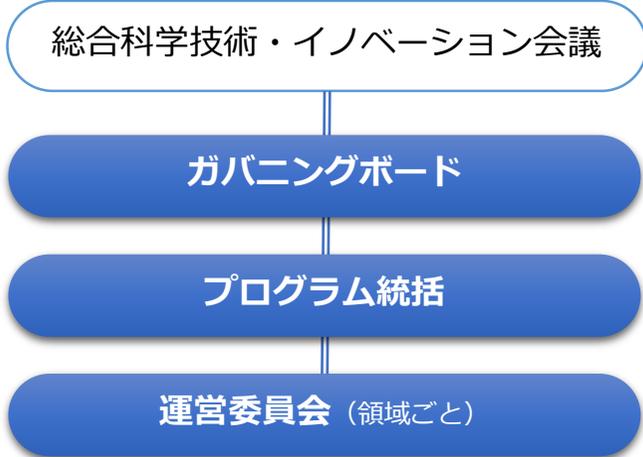


官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）に係るマネジメント体制



議長：内閣総理大臣
 議員：官房長官、科技、総務、財務、文科、経産 各大臣
 有識者議員（8名）

CSTI 有識者議員（8名）
 上山隆大（常勤）、
 梶原ゆみ子、小谷元子、小林喜光、篠原弘道、
 橋本和仁、松尾清一、山極壽一（非常勤）

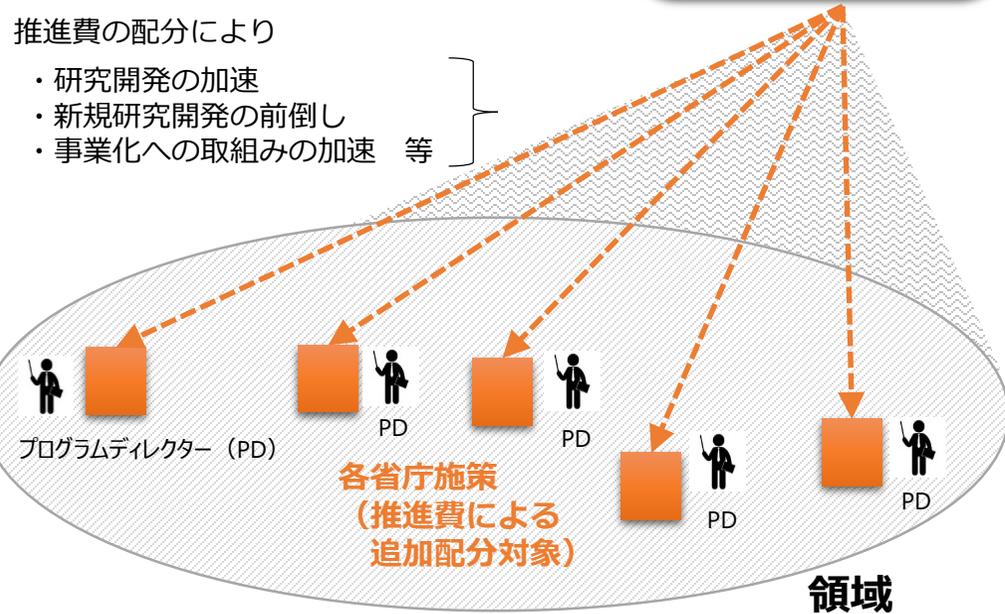
内閣府政策参与 須藤亮

座長：領域統括 / 委員 7～8名程度

- 《対象施策》への予算の追加配分
- 《対象施策》間の連携促進

運営委員会
 座長：領域統括

- 推進費の配分により
- ・ 研究開発の加速
 - ・ 新規研究開発の前倒し
 - ・ 事業化への取組みの加速 等



AI技術領域	革新的建設・インフラ技術 / 革新的防災・減災技術領域	バイオ技術領域
<p>【領域統括】 安西裕一郎</p>  <p>日本学術振興会 顧問 人工知能技術戦略会議 議長</p> <p>【主要分野】 ✓ AI/IoT/ビッグデータ</p>	<p>【領域統括】 田代民治</p>  <p>鹿島建設 常任顧問</p> <p>【主要分野】 ✓ 建設:i-Construction ✓ インフラ維持管理:点検、診断、補修、長寿命化 ✓ 防災・減災:予防、予測、被害軽減、早期機能復旧</p>	<p>【領域統括】 小林憲明</p>  <p>キリンホールディングス株式会社 取締役常務執行役員</p> <p>【主要分野】 ✓ バイオ素材 ✓ ヘルスケア・機能性食品 ✓ 持続的・一次生産システム ✓ 資源循環利用</p>

【課題】官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）の 効果的な実施に向けて

PRISMに係る見直し

- ガバニングボードの決定を経て、本年7月からPRISMの今後の運用方法等を見直す検討会をCSTI/ガバニングボードの下に設置済み。
- 検討会において、推進費を配分した事業に対する評価の強化や、内閣府として各府省庁の元施策の予算要求状況、実施状況などを把握するフォローアップの仕組みづくりについて検討を進めている。

民間資金の受け入れ状況（マッチングファンド）について

- 平成30年度については初年度であったことから、マッチングファンドについては約26.1億円と国費に対し約25%見込んでいたところ、令和元年度については、継続的に実施した事業を中心にマッチングファンドが上昇し、6月に推進費を配分した案件についてはマッチングファンドを約87.1億円見込んでいる。
- 内閣官房・内閣府行政レビュープロセスにおいて、現状指標としている民間資金の受け入れ状況（マッチングファンド）のみではプログラムの成果を測る指標として不十分。国費のアドオンにより、事業の加速、前倒し等、どのような効果が発現したのかを測り得る指標を取り入れるべきとの指摘を受けており、PRISMの目的である民間研究開発投資誘発効果の高い領域又は財政支出の効率化に資する領域への各府省庁施策の誘導を図るために適切な指標について引き続き検討する。

令和元年度 PRISM予算配分 主な対象施策概要

【配分予算 6,326百万円】

対象施策	府省名	配分額 (百万円)	概要
新薬創出を加速する症例データベースの構築・拡充	厚生労働省	695	「創薬ターゲットの枯渇」に対応するため、特発性肺線維症(IPF)及び肺癌を対象として、患者の診療情報(カルテ、検査等の情報)や患部組織等におけるオミックス情報(網羅的に測定した生体分子情報)等の様々な情報を構造化して収めた疾患情報統合データベースと、論文情報等をAIも活用して抽出した疾患知識ベースを整備し、これらの情報をAIによって解析する創薬ターゲット探索プラットフォームを構築する。
創薬ターゲット推定アルゴリズムの開発	文部科学省	216	創薬ターゲット探索プラットフォームの構築に当たり、オミックス情報や診療情報等の様々な情報の構造化、カルテ等の医療テキストからの情報抽出、創薬ターゲットの探索等をAI技術によって自動化・サポートする。
AIを活用した大規模施設生産・育種等のスマート化	農林水産省	378	農業データ連携基盤「WAGRI」を核として、病害虫診断AIに用いるデータ等の農業データを収集・集積、社会展開するアーキテクチャを構築する。また、種苗選別に用いる高い精度の育種データを栽培環境シミュレーター等により大規模に収集及び解析するシステムを構築し、高効率・短期間での品種改良を実現する。
農畜産向けにおいセンサ及びモイスチャーセンサの開発	文部科学省	300	家畜の病気の原因等となる餌(サイレージ)の発酵状態や農産物の品質変化等を測定する高性能な嗅覚センサを開発する。また、農産物の病害や農業施設・設備の故障の原因等となる結露を高感度で検知するモイスチャーセンサを開発する。
AIを活用したサイバー攻撃対策技術の開発	総務省	400	SIPのサイバーセキュリティの研究開発と連携し、ICチップの設計回路等に仕込まれた不正回路や不正動作を検知する技術の開発、大規模なサイバー攻撃につながるマルウェアの初期挙動を検知する技術の開発を行う。
翻訳技術の高度化及び民間利活用促進	総務省	400	NICTが有する多言語音声翻訳技術に関し、訪日・在留外国人対応に向けた医療・介護、教育、行政サービス、防災分野の翻訳精度向上等を行う。また、民間企業等が翻訳技術を容易に試せる環境を構築・開放し、民間活用・普及を促進する。
【データ基盤】「インフラ・データプラットフォーム」構築	国土交通省	380	インフラの建設生産プロセス全体(調査・測量・設計～施工・監督検査～維持管理)のデータを一元的に管理するデータ基盤「インフラ・データプラットフォーム」を構築する。
【調査・測量・設計】レーザー測量の高度化、施工維持管理まで使用可能な3D設計システム開発	国土交通省	400	レーザーによる水中等の測量の高度化や、施工段階でも使用可能な3D設計システムを開発する。
【施工・監督検査】無人工事現場実現に向けた建機の自動制御・群制御、施工データの3D化及び同データに基づく検査技術開発	国土交通省	1,380	無人工事現場の実現に向けた研究開発(AIによる建機の自動制御・群制御)、施工データの3D化(IoTによるデータ自動取得・蓄積)及び同データを活用した出来形、品質に係る検査技術を開発する。
【維持管理】インフラデータのAI解析による要補修箇所の早期検知・原因分析・補修に係る研究開発	国土交通省	461	地方自治体を含めたインフラ維持管理データをAI等により解析することによって、点検作業の効率化、要補修箇所の早期検知(診断)、劣化の原因分析、補修方法の提案等を実現する。
気象・河川水位情報等の提供による応急対応促進	国土交通省	210	観測水位データを活用した傾向分析による水位情報提供システムの開発により、中小河川においても、避難周知に必要なリードタイムの確保を実現する。

経済社会・科学技術イノベーション活性化委員会

- 600兆円経済の実現に向け、成長のエンジンである科学技術イノベーションの活性化等を図るため、**経済財政諮問会議と総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）の下に「経済社会・科学技術イノベーション活性化委員会」を設置。**両会議が合同で専門調査会を設置するのは初めて。
- 平成28年6月以降、同委員会で議論を重ね、10月に中間報告、**12月に最終報告とりまとめ。**

<検討経過>

【平成28年】

6月9日

「**経済社会・科学技術イノベーション活性化委員会**」の設置

6月21日 <第1回 活性化委員会>

経済財政政策と科学技術イノベーション政策の現状について

10月6日 <第2回 活性化委員会>

中間報告（案）について

10月14日

中間報告とりまとめ。経済財政諮問会議で報告。

12月16日 <第3回 活性化委員会>

最終報告（案）について

12月21日

最終報告とりまとめ。経済財政諮問会議とCSTIの合同会議で報告。

「科学技術イノベーション官民投資拡大イニシアティブ」を策定。

<委員会メンバー>

榊原 定征	経済財政諮問会議有識者議員
高橋 進	経済財政諮問会議有識者議員
上山 隆大	総合科学技術・イノベーション会議有識者議員
橋本 和仁	総合科学技術・イノベーション会議有識者議員
白石 隆	政策研究大学院大学学長
中西 宏明	(株)日立製作所取締役会長 代表執行役

「科学技術イノベーション官民投資拡大イニシアティブ」の策定

＜現状認識＞

- 我が国は人口が減少し、超高齢社会が到来。また、世界は大変革時代を迎え、グローバルな国際競争が一層激化する中、欧米や中国などは着実に科学技術イノベーション予算を拡充。
- 我が国にとって、新たな技術革新を活用し国民生活を豊かにする**「Society 5.0」の実現こそが、600兆円経済を実現する成長戦略の鍵**。「世界で最もイノベーションに適した国」に我が国を変革するため、今こそ、**官民がともに成長のエンジンを最大限ふかし、「未来への投資」を拡大**する必要。

「科学技術イノベーション官民投資拡大イニシアティブ」 (平成28年12月21日)

【基本的考え方】

- CSTIの司令塔機能の強化を図り、Society 5.0の実現に資する科学技術予算の量的・質的拡大を目指す。
- イノベーション創出を阻害している制度、仕組みを徹底して見直し、効率的な資源配分の仕組みを構築。
- 「科学技術基本計画」で定められた**「政府研究開発投資の目標（対GDP比1%）」の達成、大学等への民間投資の3倍増**を目指す。

【経済社会・科学技術イノベーションの活性化に向けた3つのアクション】

- 研究開発の官民投資拡大に向け、以下の＜3つのアクション＞を強力に実行。

アクション1：＜予算編成プロセス改革アクション＞

アクション2：＜研究開発投資拡大に向けた制度改革アクション＞

アクション3：＜エビデンスに基づく効果的な官民研究開発投資拡大アクション＞